

## 京大病院とテンクーが、がんゲノム医療のエキスパートパネルの運用の現場をサポートする仕組みを共同研究

京都大学医学部附属病院（所在地：京都府京都市、病院長：高折 晃史、以下「京大病院」）と株式会社テンクー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：西村 邦裕、以下「テンクー」）は、2025年4月より、がんゲノム医療のエキスパートパネルの運用の現場をサポートするRAD（Rule based Annotation Descriptor）システムの運用を開始いたしました。本仕組みは、京都大学 大学院医学研究科 腫瘍内科学講座 武藤 学 教授らが開発を進めていたエキスパートパネルの解釈のための方針「京大ルールブック」をベースに、テンクーの「がんゲノム医療を支援するソフトウェア」を応用して、2022年11月より共同研究を行った成果です。

### 背景・内容

がんの特徴をゲノムレベルで解析し、個々の患者さんに合った診断や治療を行う「がんゲノム医療」が世界的に広がりを見せています。国内では2019年6月より「がんゲノムプロファイリング検査」が保険適用となり、2025年7月時点で10万人以上の方が検査を受けています。この「がんプロファイリング検査」には複数の専門医などがあつまり、検出された遺伝子バリエーションに対する臨床的意義付けや治療方針を議論する「エキスパートパネル」が導入されました。一方で、がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議（[https://www.ncc.go.jp/jp/c\\_cat/jitsumushya/090/index.html](https://www.ncc.go.jp/jp/c_cat/jitsumushya/090/index.html)）などで指摘されているように、遺伝子バリエーションの解釈、薬剤検索、臨床試験の検討には専門的な知識や判断が必要なため、エキスパートパネルの負担が大きいという声が報告されています。

京大病院では、遺伝子バリエーションの解釈のための方針である「京大ルールブック」を整備し、解釈の補助をし、システム化をしていました。それをさらに、管理を容易にし、自動的に「京大ルールブック」を参照できる仕組みを本共同研究により構築し（図1）、運用を開始しました。3ヶ月以上、安定的に運用を行い、臨床現場のサポートに繋がる結果となっています。

京都大学の武藤 学 教授は、「本システムを利用することで、がんゲノム医療連携病院などが、遺伝子バリエーションを自院で解釈する際の手助けとなります。エキスパートパネルが可能な施設が増えることで、がんゲノム医療が全国に広がると期待できます。」とコメントしています。

今後は、最新の遺伝子バリエーション解釈の情報やシステムを継続的にアップデートしていくとともに、より臨床の現場に資する仕組みを提供し、医療従事者および患者さんに貢献できるようにしていきます。

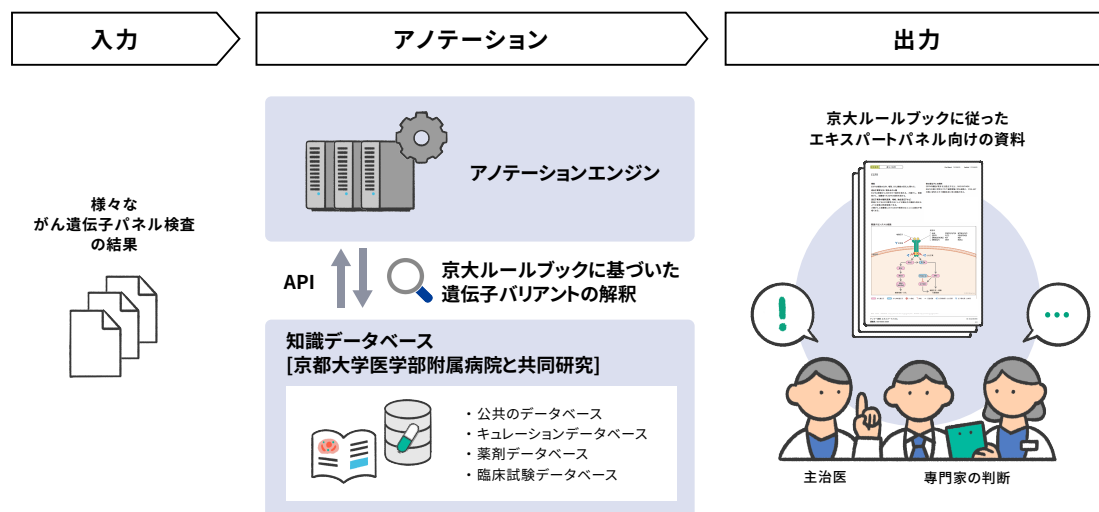


図1. 京大病院とテンクーとの共同研究を行ったがんゲノム医療のエキスパートパネルの運用を支援する仕組み

---

#### 株式会社テンクーについて

ゲノム医療向けのデータ解析・バイオインフォマティクス・レポートニングに特化した東京大学発ベンチャー。高い技術力と開発力で、ゲノムおよび生体情報解析のトータルソリューションChrovisの開発とサービス提供を行う。大学発ベンチャー表彰 文部科学大臣賞をはじめ、多数のスタートアップ関連の賞を受賞。「Chrovis Clinical Annotation がんゲノムレポートニング (仮称)」が、厚生労働省よりプログラム医療機器(SaMD)に関する「プログラム医療機器に係る優先的な審査等の対象品目」に指定されている。

本社所在地： 東京都文京区本郷二丁目40号8番

代表者： 西村 邦裕

設立： 2011年4月

URL： <https://xcoo.co.jp/>

事業内容： ・ゲノムおよび生体情報解析のトータルソリューションChrovisの開発と運用  
・並列分散コンピューティングによる高速データ処理を行うシステムの開発  
・最先端のアルゴリズムに基づくデータ分析/可視化を行うシステムの開発

---

#### 本件のお問合せ

京都大学医学部附属病院総務課企画・広報掛： [his yokoh@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:his yokoh@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

株式会社テンクー 広報担当： [pr@xcoo.jp](mailto:pr@xcoo.jp)